

令和4年8月
東京あおば農業協同組合

日本郵政株式会社が発行する「グリーンボンド」への投資について

東京あおば農業協同組合（代表理事組合長 久保 秀一、以下「当 JA」）は、このたび、日本郵政株式会社（以下、「同社」という）が発行するグリーンボンド（日本郵政株式会社第3回社債（一般担保付）（グリーンボンド）、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「グリーンボンド」とは、CO₂削減等の環境改善効果を持つ事業（グリーンプロジェクト）を対象とする資金調達を行うために発行される債券のことであり、ESG^(注1)投資の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するグリーンボンド原則に適合する旨、株式会社日本格付研究所からセカンド・パーティ・オピニオンを取得しており、「グリーンボンド」として発行されます。

同社を含む日本郵政グループは、2021年5月に中期経営計画「JP ビジョン2025」を策定しており、「人生100年時代の『一生』を支え、日本全国の『地域社会』の発展・活性化に貢献し、持続可能な社会の構築を目指す」ことをESG目標として設定し、「サステナビリティ経営」を推進していくことを掲げております。本債券により調達された資金は同社が策定したサステナビリティ・ファイナンスフレームワークにおける資金使途の1つであるグリーンビルディング（蔵前一丁目開発事業と五反田計画）に充当予定です。

当JAは、今後も適切なリスク管理のもとで、本債券をはじめとしたESG投資を積極的に実施することで、社会的責任を十分に果たしてまいります。

^(注1) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。

「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

<本債券の概要>

銘柄	日本郵政株式会社第3回社債（一般担保付）（グリーンボンド）
発行日	令和4年9月1日
期間	20年